

インタビューコーナー

6月29日(土)の大交流会にて、広報部会として参加者の方へ、「まちづくり通信」に対する感想や、東矢本駅北地区へ移り住むにあたり、ご不明な点・ご不安な点について、インタビューをしました。

何か協議会に対して、ご不明な点、ご不安な点がありますか？

50代参加者(女性)：
具体的な内容が分からない。区画を決めるうえでの優先順位やルールについて説明がほしい。

何か気になることはありますか？

40代参加者(女性)：
宅地面積がどれくらいになるか知りたい。

何かご要望はありますか。

70代参加者(男性)：
早く家が欲しい。畳の上で人生を終わりたい。

今、どんな情報を知りたいですか。

20代参加者(ご夫婦)：
現在、大塩在住で、子供が3歳。家が建つまで

には小学校に入学する。大塩小学校に入れ、途中で転校させるべきか、移転先の矢本東小学校に入れるべきか。矢本東小学校に入れた場合、バスは出るのか知りたい。

新しいまちに対しての要望はありますか。

30代参加者(ご夫婦)：
子供たちの遊べる場所がほしい。安全な道路をつくってほしい。

ご協力ありがとうございました。いただきました内容につきましては、関係各所に確認のうえ、次号にて回答を掲載いたします。

“街づくり勉強会”開催(5月27日)

午後7時30分、矢本保健相談センターで、街並み検討部会と研修・イベント部会の共催により、二瓶正史氏(㈲アーバンセクション代表)を招き、「安全で快適な暮らしを育む街づくり～みんなで考えよう将来の家と街について～」というテーマの勉強会を行いました。

二瓶氏は、3月16日に視察に行った住宅団地のうち、古川の“穂波の郷”や全国何か所もの街並みデザインをしており、実践的でわかりやすいお話が大変勉強になりました。

今後の東矢本駅北地区の街並み検討において、大いに参考になりそうです。



講演している二瓶氏

住まいづくり耳より情報!

「みんなで子ども夏まつり2013」にて、地元工務店やハウスメーカーの復興住宅提案、住宅金融支援機構ほかの融資情報など、住まいづくり情報コーナーが設置されます。ぜひ足を運んでみてください。
日時：7月28日(日)午前9時30分～午後3時30分
場所：東松島市コミュニティセンター前広場
(住まいづくり情報コーナーは、新しい矢本東保育所西側中央サポートセンター前です。)

編集後記

6月29日の協議会大交流会にて、広報部会は参加者へのインタビューを行いました。お話を伺った方からは、「まちづくり通信」を見てくださっているという生の声を多く聞き、とても貴重なご意見をいただくことができました。今後も皆さんに、できる限りわかりやすく、そして有益な情報を提供できるように、気合いを入れて編集活動を行っていきたいと思います。
また、大交流会においては、協議会の事務局をしてくださっているとしまち研から、物資の援助もいただきました。この場をお借りして、お礼申し上げます。
(広報部会長 土門一枝)

皆様からのご意見、ご感想をおまちしております。(【集団移転に関する何でも相談窓口】開設中)
東矢本駅北地区まちづくり整備協議会
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字町浦84番地 としまち研東松島事務所内(事務局：阿部久美子、青山秀明)
Tel：0225-98-5291/ fax：0225-98-5293/ E-mail：higashimatsushima@tmk-web.com/ HP：http://www.tmk-web.com

第8号 平成25年7月23日

東矢本駅北地区 まちづくり通信

発行 東矢本駅北地区まちづくり整備協議会 広報部会

目次

協議会大交流会開催	1~3面
新しいまちの名称を募集します	3面
インタビューコーナー	4面
“街づくり勉強会”開催	4面
住まいづくり耳より情報!	4面

協議会大交流会開催(6月29日)

大曲市民センターにて、協議会の大交流会が開催されました。

1ヶ月ほど前から役員と事務局を中心に、復興応援隊、復興まちづくり推進員、そして市の関係各所と打ち合わせを続け、交流会前日には、駐車場のライン引き、テントの下準備、食材の下ごしらえ等、平日の作業にもかかわらず、多くの方の参加により、予定より早く準備を終えることができました。



模擬店準備の様子

大交流会当日の協議会員の参加は218名、当日お手伝いをしていただいた栃木県のボランティア団体「YAMBE(やんべ)」、東松島市の食生活改善推進委員会など、関係者を含めると総勢約300名になりました。10時30分に開場。初めての全体交流会ということで、「お久しぶり、あなたもここに移動してくるの?元気だった?」という声があちこちから聞こえてきました。

開場と同時に開設した情報展示コーナーには、これまでに会員の皆さんにお送りしている「まちづくり通信」や現在の現地写真、土地利用計画図、街並みのイメージ図が掲示されており、大交流会開会まで1時間、参加者の皆さんは資料をじっくり見学し、思い思いの時間を過ごしていました。

11時30分から、大交流会が始まりました。役員の前根悦子氏、熊谷忠氏、そして事務局が司会進行を務めました。

はじめに、大交流会主催者である協議会の小野竹一会長から、「震災後、皆さんバラバラに暮らしていて、この場でしばらくぶりに会ったという方もいらっしゃるかと思います。私たちは、これから東矢本駅北地区にみんなで集団移転しようという方々約580世帯で、今後、いろんな場面で集会を開いて、必要なことを決めていかなければいけないこともあります。今日は楽しく交流会を始めたいと思いますのでよろしくお願い致します。」という開会の挨拶がありました。引き続き、会場をお借りした大曲市民センターの阿部礼哉所長からは、「皆さんはいずれ近い将来は、移転先でコミュニティづくりというものを検討をされるでしょうが、今日はその第一歩となるのだと思います。我々が生きていくためには、食べ物や物質は欠かすことができません。それと同時に、近隣の皆さんとの心のふれあいも大事なことであり、心の豊かさにつながっていきます。今日の交流会をそんな機会にしてほしいと思います。この会場は、震災で津波の被害を受けました。この会場に避難していたのは40名程度でしたが、



情報展示コーナーで街並みのイメージ図を見ている様子

ステージ上に机を2段置いて一晩を過ごしました。この建物は、つくりは頑丈なので、取り壊しをせず、昨年11月から5ヶ月かけて改修し、今年の4月から使えるようになりました。今日は、短い時間ですが、楽しい会にしたいと思います。」という挨拶をいただきました。



YAMBEにお手伝いいただいたキッズコーナー

次に、研修会が行われ、事務局から「防災集団移転の区画決定スケジュールに関する報告」を、小野会長から「災害公営住宅に関する情報提供」がありました。

①区画決定スケジュールに関する報告

平成24年12月13日付で協議会員の皆さんから意向調査書をいただき、その情報に基づいて区画決め準備を進めていましたが、平成25年2月15日の協議会総会で土地利用計画が決定した時点では、随分と状況が変わってきました。そのため、区画決定方法を変えようということで、担当部会や役員会にて、協議の最中です。決定方法を皆さんに発表するまでにはもう少し時間がかかりそうですが、8月上旬ぐらいには、区画決定手順の詳しい説明会を実施します。そして、その後、皆さんがどの区画のかたまり（ブロック）に行きたいかの希望を出してもらって希望登録を行います。その後の詳細はまだ検討中ですが、希望登録をもとに、区画決定が進んでいく予定です。まちづくり通信を読んで、状況を知っていただきたいと思います。

また、区画決定と合わせて、後世にも受け継がれる街をどのようにつくっていくかという、街並み検討部会も活動していますので、当面、区画決定と合わせて重点的な取り組みとなります。

②災害公営住宅に関する情報提供

7月の市報に掲載されましたが、災害公営住宅

入居者の方針により、仮入居申込みが行われます。

【優先入居】

津波防災区域内の方

【優先順位枠】

津波防災区域外の障がい者がいる世帯、高齢の世帯、子育て世帯、生活保護を受けている方など

【一般抽選枠】

津波防災区域外で、建物が浸水・地震による被害を受け、建替え・修繕が困難な方（り災証明取得者）

このような順番で入居者を決めることになりました。現状では希望者がオーバーしているので、一般抽選枠の方は、東矢本駅北地区に希望しても他の地区へ移っていただく方が出ます。

また、災害公営住宅の保証人は一人がよく、東松島市に住んでいる方、難しい場合は、宮城県内に住んでいる方、それでも難しい場合は、緊急連絡ができる方でよいという条件になりました。

市報に載せていない情報として、ペットも一緒に入居可能です。ただし、ペットを飼っている方はまとまったエリアに入り、ペット飼育のルールを決めようという条件になります。

災害公営住宅の入居仮申込み登録について、受付日は市報に掲載されているので、分からないことがあれば、必ず市の担当部署に相談してください。

災害公営住宅も、集団移転の方々と同じくらい隣近所に住む方が重要になってきますので、役員会では、災害公営住宅に入られる方のコミュニティについても検討していきます。

また、造成の工区について、コミュニティの分断の原因とならないように再度検討してもらえよう、市とURにお願いしています。その結論も、来月の中旬ぐらいに報告があるので、決まり次第皆さんにお知らせできる予定です。



配食コーナーに並ぶ「そばはっと汁」

研修会が終了し、12時から昼食を取りながら

の大交流会となりました。

昼食は、焼肉、うどんのほか地元のものも積極的に取り入れ、オイタミートの新商品「海苔入りウインナー」やマルヤ鮮魚店のホタテ、つけもの工房純の漬物、そして食生活改善推進委員会の方々が調理して下さった上下堤のそば粉を使ったそばはっと汁がテーブルに並びました。キッズコーナーでは、YAMBEによる綿あめ、ポップコーン、チョコバナナ、かき氷が並び、その他、水ヨーヨーすくい、ふわふわドームなど、遊びブースもたくさん用意していただきました。



昼食風景

皆さんのお腹が落ち着いたところで、大曲ふれあい太鼓による、和太鼓の演奏がありました。三浦会長を中心として、チームのまとまりのある演奏を楽しみました。

和太鼓の演奏が終わり、ここで中締めとして、菅原副会長から、「私たち役員は、皆さんの喜ぶ顔が見たくて頑張りました。今日は朝早くから準備をして皆さんをお迎えしましたが、総勢約220名の方においでいただいたということで、盛会のうちに終了できることに御礼申し上げます。また、準備にあたり、協議会役員、事務局のほか、栃木県の支援団体の皆さんにも御礼申し上げます。これからいいまち、いい故郷をつくるため、役員一同邁進して参りますので今後もよろしくお願いします。」と挨拶がありました。



大曲ふれあい太鼓の演奏

中締め終了後、もう一つのアトラクションとして、ブルーインパルスのお楽しみ会が行われました。隊員への質問コーナーやジャンケン大会など、楽しい時間を過ごすことができました。



ブルーインパルス隊員のサイン入り写真パネルをいただきました

最後に、小野会長からの締めの挨拶があり、「今回のような交流会を今後もやっていきたい。」というお話で大交流会を終えました。

ご提供ありがとうございました！！

☆玉ねぎ/じゃがいも

JAきたみらい（北海道）様

☆うどん/和三盆（特産菓子）/工作キット

香川県東かがわ市 様

上記のとおりのご支援がありました。この場をお借りして御礼申し上げます。

文面上でご紹介したほかに協力をいただいた方々にも御礼申し上げます。

ふれあいちば「まちなど」様、奥松島公社様、山本ヒカル様（デザイナー）、福島正博様（北海道北見市役所）、遠藤利文様（JAいしのまき青年部矢本地区部長）、東松島復興協議会様、復興応援隊様、復興まちづくり推進員様、シニア隊様

新しいまちの名称を募集します

協議会は、皆さんが新たに住まいを構える「新しいまち」の団地全体の名称を募集することになりました。

“ずっとみんなで仲良く暮らせるまち”“笑顔のまち”“希望のまち”などをイメージして、簡素で親しみやすい名称を募集します。

詳しくは、後日ご案内の募集要項をご覧ください、奮ってご応募ください。